

# R7 第2回 南姫中学校教育アンケート 回答率57% 2026.1

12~1月に行った2回目の保護者アンケートの結果をご報告します。

(1:はい 2:どちらかといえばはい 3:どちらかといえばいいえ 4:いいえ 5:わからない)

|    | 評価項目                                   | 1   | 2   | 3   | 4  | 5   | 1+2 | 前年比   |
|----|----------------------------------------|-----|-----|-----|----|-----|-----|-------|
| 1  | 学校での様子をよく知ることができる。                     | 25% | 59% | 7%  | 4% | 5%  | 84% | ➡ 0%  |
| 2  | 学校と家庭をつなぐ機会（授業参観・三者懇談会・電話連絡等）は、有意義である。 | 65% | 33% | 0%  | 0% | 2%  | 98% | ↑ 2%  |
| 3  | 学校行事は、お子さんの成長につながる教育活動である。             | 68% | 25% | 0%  | 0% | 7%  | 93% | ↑ 2%  |
| 4  | 学校は、学力をつけるために一人一人を大切にしたきめ細かな授業をしている。   | 32% | 39% | 5%  | 2% | 22% | 71% | ➡ 0%  |
| 5  | お子さんは、学校へ行くことや学校生活を楽しいと感じている。          | 58% | 28% | 5%  | 5% | 4%  | 86% | ↑ 2%  |
| 6  | 学校の教職員は、子どもたちの理解に努め、気軽に相談に応じてくれている。    | 51% | 37% | 4%  | 0% | 8%  | 88% | ↑ 2%  |
| 7  | 学校は、地域の意見・要望や保護者の意見・要望に誠実に対応している。      | 44% | 46% | 2%  | 0% | 8%  | 90% | ↑ 8%  |
| 8  | 学校は、地域に開かれた学校を目指し、地域と連携をした教育活動を進めている。  | 40% | 46% | 0%  | 0% | 14% | 86% | ➡ 0%  |
| 9  | 資源回収等PTA活動に、積極的に参加したり、協力したりできる雰囲気がある。  | 23% | 61% | 12% | 0% | 4%  | 84% | ↑ 5%  |
| 10 | お子さんは、失敗を恐れないで何事にも挑戦している。              | 21% | 46% | 21% | 4% | 8%  | 67% | ↑ 2%  |
| 11 | お子さんは、ちがう立場の人や他者の考えを理解し、折り合おうとしている。    | 36% | 45% | 9%  | 0% | 10% | 81% | ⬇ -7% |
| 12 | お子さんは、仲間が自分のよさを分かってくれると感じている。          | 38% | 46% | 2%  | 4% | 10% | 84% | ↑ 8%  |
| 13 | お子さんは、自分にはよいところがあると感じている。              | 33% | 51% | 2%  | 0% | 14% | 84% | ↑ 1%  |
| 14 | お子さんは、主体的に考え、行動している。                   | 30% | 40% | 11% | 7% | 12% | 70% | ➡ 0%  |

## ■全体分析■

各項目の肯定的な回答（1+2）の割合を見ると、前回（R7・7月）より上がったのが9項目もあり、下がった項目は1つでした。特に改善が顕著だったのは「7. 学校は、地域の意見・要望や保護者の意見・要望に誠実に対応している」で、8%も増えました。生徒達の成長には、本人の努力はもちろん、家族や仲間、教師や地域の方々など周りの人達の支えが必要です。そして、その成長を支える家庭と地域、学校が意思疎通を密にし、同じ方向を向いて連携して子どもに関わっていくことが、大切だと考えています。今後も、ホームページや通信等で学校からの情報は積極的に発信していきます。保護者の皆さんも、学校の教育活動に关心をもっていただき、率直なご意見をお聞かせください。共に考え、共に子ども達のよりよい成長につなげていきましょう。

また、「12. お子さんは、仲間が自分のよさを分かってくれると感じている」も8%上昇です。これは、これまでの教育活動を通じて、生徒同士がより互いを信頼し、相手のよさを認め合える関係を築いてきた成果です。また、学級活動でクラスの仲間と合意形成を図る授業や、LGBTQの東郷潤さんらを招いた人権に関する授業なども、「自分らしく生きること」や「互いの違いを認め合うこと」を学ぶよい機会になったのではないかと考えます。今後も、魅力ある外部講師を招いて貴重な話を聞く機会を積極的に位置づけることで、広い視野をもち、自他のよさを認め合う生徒を育てていきます。

課題としては、「10. お子さんは失敗を恐れないで何事にも挑戦している」が、唯一70%を下回っています。挑戦には失敗がつきものですが、誰だって失敗はしたくありません。しかし、それを恐れていては成長もありません。大切なことは、小さなことでも「やってみよう！」と勇気を出して足を踏み出すことであり、周りの大人がその価値を認めることです。もちろん、最終的には成功体験につなげ、本人が自信をもつことも大切です。そのために、私たち大人ができるることは何か考え、学校と家庭、地域でこれからも連携していきましょう。

## ■ご意見等■（一部抜粋）

- いつも細やかなご指導をありがとうございます。（複数）

→ありがとうございます。皆さんのご期待に沿えるよう今後も職員一同、チームワークを大切にして指導や支援にあたります。

- 多彩なゲストを呼び、子ども達に学びの機会を作ってくれていることに感謝します。姫から出た活躍しているJリーガー石尾陸登選手も講師として是非呼んでください。

→ありがとうございます。予算やスケジュールなど条件がありますが、前向きに検討します。

- 周りに迷惑かけてないか、気づいていないことがありそうで心配

→気になることや心配なことは、いつでも学校にお問い合わせください。もちろん、授業公開日や懇談会の折に担任に直接お話を頂いても結構ですし、お電話でも構いません。学校の敷居は、そんなに高くはありませんので…。

- 給食エプロンやあゆみの冊子に洗剤や柔軟剤の匂いがついていて家に持ってくるとすごい匂いがして頭が痛くなったり気持ち悪くなったりする。エプロンは一緒に洗濯したものはすべてエプロンについていた柔軟剤の匂いが洗濯物全体についてしまうので大変困っています。匂いに敏感なので香害に関する県のリーフレットなどを廊下に貼ったり配ったりして配慮してほしいです。

→岐阜県でも、柔軟剤や洗剤などの香料が原因で頭痛や吐き気、アレルギー症状などを引き起こす「香害（こうがい）」に関する相談があるようです。実際に県では「香りへの配慮」を呼びかけ、ポスター掲示などで注意を喚起しています。化学物質過敏症の人もいるため、香料の強い製品の使用を控え、周りの人への配慮が求められています。学校としても、ポスターを貼るなど啓発を進めます。

- 女子の制服の選択肢（ズボン）を増やして欲しい。

→LGBTQの方を講師とした講演会の後、各学級で「自分らしさ」や「違いを認め合う」ことについて話し合った際も、今の「制服」について話題になりました。その後、制服の在り方について考えたい生徒数人が集まり、話し合いも始まっています。選択の幅が広がる方向に向かうと予想されますが、今の時点ではまだはっきりとしたことはお伝えできません。また、動きがあればお知らせします。

- 部活の時間や回数、種類ができるだけ増やして欲しい。（難しいとは思いますが）

→本校の部活動の回数は、市内の中では比較的多い方だと認識しています。回数だけでなく部活の種類についても、それぞれにご希望があると思いますが、現状は「今まま」を継続していくしかないと考えています。ご了承ください。

- 3年生になったら進路の事は重要な事なので、高校説明会とか親に直接連絡があってもいいと思う。

→高校説明会については、生徒本人にはもちろん、保護者の皆さんにも「きずなメール」でご案内させていただいております。届いていないとすると、登録や受信設定に問題があるかもしれません。今一度ご確認いただき、ご不明な点があれば、いつでも学校にご相談ください。

- 不登校なことは当人も気にしてはいますが、進学も決まっていますし、家族としての話し合いは結構しておりますので、当人の納得のいくように、やりたいことをやらせたいと思っています。

→成長は一人ひとり違います。進路も、本人が周りの支援や助言を受けながら、自分で決め、納得して進むことが大切です。今後も保護者の皆さんと一緒に、生徒一人ひとりに応じた支援をしていきます。